

2022年1月20日

報道関係 各位

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

コカ・コーラ ボトラーズジャパン、多摩工場内に「CCBJI Museum」を設立

12社統合の変遷を振り返り、未来に繋げる企業ミュージアム

コカ・コーラ ボトラーズジャパン（本社:東京都港区 代表取締役社長 最高経営責任者:カリン・ドラガン、以下、当社）は、当社「多摩工場」（東京都東久留米市）の見学施設を改装し、日本の「コカ・コーラ」の歴史とともに会社統合の変遷を振り返り、未来に繋げる企業ミュージアム、「CCBJI Museum（CCBJI ミュージアム）」を設立しました（注1）。



日本の「コカ・コーラ」の歴史やボトラー社の変遷などを13のテーマで紹介する「歴史エリア」

「CCBJI Museum」は、かつて日本各地で事業を行っていた12のボトラー社の成り立ちから、2017年4月の統合（注2）までの歴史を振り返ることで、当社の礎を築いた先輩諸氏に感謝の意を表するとともに、更なる発展に向けて前進するという意思を来場者のみなさまに知っていただくことを目指して、設立しました。

内部は主に当社とこれまでのボトラー社の歴史を13のテーマで紹介する「歴史エリア」と、当社の事業エリア内を走るルートカーの写真を展示した「青空写真エリア」で構成されています。「歴史エリア」では、歴代の自動販売機やさまざまなデザインのラッピング自販機、各地域のシンボルとなる場所に掲げてきた屋外広告の写真の展示を通じ、

ボトラー社が地域密着で活動してきたことを紹介しています。また、「コカ・コーラ」の製造販売権を取得し、日本で最初のボトラー社となった旧東京コカ・コーラボトリングを創業した高梨仁三郎氏のエピソードを集めたコーナーや、コカ・コーラ社製品と「カンパイ」シーンを演出できるフォトスポットなども備えています。「青空写真エリア」では、観光気分を味わいながら当社の事業エリアについて来場者のみなさまに知っていただけるよう、エリアの名所を走るルートカーの写真を38枚展示しています。

【施設概要】

※現在、工場見学施設は休止しております。ミュージアム見学は、見学再開後に可能となります。

名称：CCBJI Museum

所在地：東京都東久留米市野火止 1-2-9 コカ・コーラ ボトラーズジャパン「多摩工場」 見学施設内

設立：2022年1月



当社事業エリア内を走るルートカーの写真を展示している「青空写真エリア」

(注1) 現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべての当社工場見学施設は休止しており、再開は未定となっています。本ミュージアムの見学についても「多摩工場」の見学施設の再開後に、一般公開を予定しています。見学再開をお待ちいただいているお客さまや、遠方などを理由にこれまで工場に足を運ぶことができなかった方々には、遠隔（オンライン）で工場見学を体験できるよう、2021年6月より「コカ・コーラ ボトラーズジャパン オンライン工場見学」(<https://www.ccbji.co.jp/onlinetour/>)を開催しています。引き続き工場をみなさまとのコミュニケーションの場として活用できるよう注力してまいります。

当社は、工場見学をお客さまやお得意さまをはじめとするあらゆるステークホルダーのみなさまとのダイレクト・コミュニケーションの場と位置づけています。国内17の工場のうち、「蔵王工場（宮城県）」、「多摩工場（東京都）」、「京都工場（京都府）」、「東海工場（愛知県）」、「えびの工場（宮崎県）」、「広島工場（広島県）」の6工場を見学施設として有します。2019年は5工場へ約17万人のお客さまにご来場いただきました。

(注2) 日本のコカ・コーラシステムは、原液の供給と製品の企画開発や広告などのマーケティング活動を行う日本

コカ・コーラ株式会社と、製品の製造・販売を行うボトラー社や関連会社などで構成されています。当社をはじめとするボトラー各社は、それぞれの工場で厳重な品質管理のもとに製品を製造し、お取引先の店舗や自動販売機を通して、お客さまへコカ・コーラ社製品をお届けしています。

※ニュースリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。最新の情報と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。